

GSIC テクニカル・レポート

GSIC Technical Report No. 2004-I-001	Title: 基幹ネットワークの無停電化対策	
	Authors: 学術情報部情報基盤課 ネットワークシステム係山崎孝治	Date: 2005.03.11

学術国際情報センター情報棟内に設置された基幹ネットワーク機器の無停電化対策を行い、対外接続やネットワークサービスの安定提供が可能となったので以下に報告する。

従来、法廷点検によるキャンパス全域停電（通常、土・日に実施）に際しては、

- ・対外線接続機器、基幹スイッチ、ファイアウォール等のハードディスク未搭載機器は、運転したままとする。
- ・サーバ代行サービス用サーバ等のハードディスク搭載機器は、停電前日就業時間終了後、手動でシステム停止・電源断を行い、停電明け就業開始時に運転再開の対応を行う。

の対応を行ってきた。

しかし、上記の運用では、

- ・電源切断、投入による電氣的ストレスが発生し、故障要因となる。
- ・サーバ停止により、ネットワークによる情報交換や情報発信が出来ず、学術研究活動に支障がある。
- ・本学の対外接続は主に大岡山キャンパスで行っている。このため、大岡山キャンパス全域停電時には、停電対象外であるすずかけ台キャンパスや田町キャンパスも停電の影響を受ける。
- ・全域停電作業が終了しても、すぐにサーバ代行サービスの利用ができない。

以上の理由により、2004年（平成16年）8月の大岡山キャンパス及びすずかけ台キャンパスの全域停電時を利用し、下図に示す無停電対策工事を行った。

この対策により、今後、全域停電に際しては予め仮設電源を準備することにより、停電中も通常どおり、学外とのネットワーク接続は維持することが出来、かつメールの送受信、webによる情報発信（サーバ代行サービスを利用しているもののみ）も可能となった。

